

# *Reconnected*

初版

# CONTENTS

1 使命の始まり .....	02
2 過去と未来 .....	08
3 再び、旅へ .....	12
4 導く者 .....	15
5 死と再生 .....	18
6 「物語」との対話 .....	24
7 「つながり」の記憶 .....	29

1 使命の始まり

白黒の宇宙船が、白黒の惑星から宇宙に向かって飛び立とうとしている。その惑星はかつてあらゆる色彩を帯びていた。けれどもその住人である人々が「モノガタリ」と呼ばれるものを失ってしまったがために、無機質なモノクロの世界に成り果ててしまったのだ。

ジョイ

いよいよ出発ね。ワクワクするわ。

ファイア

でも、うまく発射できなかったらどうしよう…。

アングアー

ファイア、まだそんなこと言ってるの？ いいかげんにしてよね。

ソロ

ああ、もうさみしくなってきた。家に帰りたい。

マーシー

ソロ、大丈夫だよ。すぐに戻って来られるんだから。

その惑星に豊かな色が溢れていた時代では、「ココロ」と呼ばれる共通言語を使って世界中の人々が会話し、つながり合っていた。けれども今となっては、若者やほんの一部の大人たちしかその言葉を話せなくなってしまうていた。

ジョイ

でも、ついこないだまでは会ったこともなかった私たちがこうして旅へ出ることになるなんて、不思議だわ。

アングアー

そうね。何もかも、あの狂った博士と忌々しい「バグ」のせいよ。

ファイア

みんな、もう発射するみたいだ…。

狂った博士というのは宇宙船をつくった人物であり、「ココロ」を忘れていないために彼らと会話することができた。ほとんどの人間は自分たちの属する社会の言語しか話せなかったし、若者たちも大人になるにつれて「ココロ」を忘れていたので、初めて博士に話しかけられたときは驚いてしまった。

ソロ

マーシー、この宇宙船は博士が動かしてるのかな？

マーシー

いや、自動運転って言ってたよ。目的地の星まで半日くらいだつて。

この話の主人公たちは、それぞれ異なる大陸からやって来た。ジョイの故郷では「ヨロコビ」という言語が話され、フィアの故郷では「オソレ」という言語、アングアの故郷では「イカリ」という言語が話されている。ソロのふるさとは「カナシミ」という言語があり、マーシーのふるさとは「ヤサシサ」という言語があった。

フィア

ひとまず無事に発射できたみたいだ。このまま軌道に乗れるといいけど…。

百年ほど前の、ある夜。「バグ」は突然、惑星上にある全ての機械を動かしていた「モノガタリ」というシステムの一部に発生した。それは瞬く間に広がり、惑星中であらゆる機械が作動しなくなってしまう。けれども幸い、それぞれの大陸が非常用のシステムを使うことで日常は少しずつ取り戻されたのだった。